

だいどう じ かいざんどう  
17. 大同寺開山堂

■ 指定日

昭和52年3月29日

■ 種別

兵庫県指定有形文化財 建造物

■ 年代

江戸時代

■ 所在地

朝来市山東町早田

■ 所有者

大同寺



■ 内容

名僧月菴宗光(1326～1389)を中興の祖とする大同寺にある。桁行・梁間各10.7m、入母屋造りで屋根は棧瓦葺、方三間の主屋の周囲に庇を巡らせた裳階付きの堂々たる禅宗仏殿である。

建立年代は建築細部の諸様式、手法からみて江戸中期を下らぬものと思われる。大同寺の文献にも天和2年(1682五代将軍綱吉時代)に着工、現在地の北方高地から移築落成(天和3年)と記録されている。なお開山堂と称しているが仏殿であり、中央に釈迦三尊、向かって右方に月菴木像を安置している。